

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 気管支吸引用カテーテル 31249000

ニプロ吸引カテーテル

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 使用方法

1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

1) 調節バルブタイプ



2) コネクタタイプ



2. 材質

| | |
|-------|--------------------------------------|
| カテーテル | ポリ塩化ビニル |
| コネクタ | アクリロニトリル-ブタジエン-スチレン共重合体 又はポリ塩化ビニル |

ポリ塩化ビニルの可塑剤は、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを用いる。

【使用目的又は効果】

本品は、経鼻又は経口的に、気管内チューブ又は気管切開チューブを介して咽頭、喉頭、気管又は気管支等に挿入し、吸引、排液及び異物除去等に用いる。

【使用方法等】

1. 吸引調節器の吸引圧を調節します。
2. コネクタと吸引調節器を接続管でしっかりと接続します。
3. 吸引圧の調節は、調節バルブタイプの場合は調節口を指で塞いで調節します。コネクタタイプの場合は、カテーテルとコネクタの接続部でカテーテルを折り曲げて調節します。
4. 3.の方法により吸引圧が加わらないようにし、カテーテルの先端を鼻腔に沿って咽頭部まで進めます。口腔内から吸引する場合は十分に開口させ、舌を前に出させます。気管内チューブが挿入されている場合は、カテーテルを気管内チューブに通して挿入します。
5. 目的の場所にカテーテルを挿入したら、吸引圧を加え、先端をくるくると回しながら吸引します。
6. 使用後は感染防止に留意して安全な方法で廃棄します。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 使用前に、カテーテルの太さや長さが挿入部位に適合していることを確認してください。
2. 他の医療機器と併用する場合は、確実に接続又は取り付けられていることを確認してください。
3. 接続部への薬液等の付着に注意してください。〔接続部の緩み等が発生するおそれがあります。〕
4. カテーテル挿入時は口腔、鼻腔等挿入する部位の粘膜への損傷に十分注意してください。

5. カテーテル挿入に抵抗がある場合は、カテーテルを抜いて、原因を解消した後、もう一度挿入し直してください。〔粘膜損傷を引き起こすおそれがあります。〕
6. カテーテルを挿入する際は、挿入部位への入れすぎに注意してください。〔カテーテルを抜去できなくなる、又は粘膜損傷を引き起こすおそれがあります。〕
7. カテーテルを抜去する際は、ゆっくりと引き抜いてください。〔粘膜損傷を引き起こすおそれがあります。〕

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 脂溶性の医薬品ではポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが溶出するおそれがあるので注意すること。
- 2) 使用中は本品の破損、接続部の緩み、液漏れ及び詰まり等について十分注意すること。
- 3) カテーテルとコネクタの接続部には過度に引っ張る、押し込む、折り曲げるような負荷をかけないように注意すること。〔カテーテルの抜け、破損、伸び等が発生するおそれがある。〕
- 4) カテーテル挿入時には、歯及び鋭い器具等でカテーテルに傷をつけないよう注意すること。〔液漏れや破損が発生するおそれがある。〕
- 5) コネクタを他の医療機器に接続する場合は、過度な締め付けをしないこと。〔コネクタが外れなくなる、又はコネクタが破損し、接続部からの液漏れが発生するおそれがある。〕
- 6) 体動でねじれると流路が閉塞するおそれがあるので注意すること。

2. 不具合・有害事象

1) その他の不具合

- (1) カテーテルの破損
- (2) コネクタの破損
- (3) 接続部からの漏れ

2) その他の有害事象

- (1) 鼻腔、口腔、咽頭、気管支等の粘膜の損傷・出血

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。
有効期間：滅菌後3年（自己認証による）

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

電話番号：06-6372-2331（代表）

製造（設計）

ニプロ（上海）有限公司

[NIPRO (SHANGHAI) CORPORATION LIMITED]

中華人民共和国

[People's Republic of China]



ニプロ株式会社